



京都大学

京都大学経営管理大学院は、2006（平成18）年の開設以来、日本や世界のビジネス界で活躍し、社会的課題の解決に貢献できるマネジメント人材の育成に努めてきました。ビジネス・リーダーシップ、サービス価値創造、プロジェクトマネジメント、ファイナンス・会計、国際プロジェクトマネジメントなどのプログラムを展開し、創立10周年を迎えた2016（平成28）年には、新たに博士後期課程を開設し、より高度な専門職業人の育成に取り組んでいます。こうした教育には産官学の連携による研究や教材開発が大変に重要です。経営管理大学院では、下記のような各種の連携活動を実施しており、大学外の企業や団体、個人からのご協力をいただいております。さらに多くの組織・個人からのご協力を仰ぎたいと考えております。

共同研究講座・産学共同講座

共同研究契約に基づく研究に特化した講座を京都大学の中に設置し、部局長の責任体制の下で効率的な運営と専任教員による確実な共同研究の進展を目指すものです。

一 産学共同講座 一

エグゼクティブ教育プログラム

社会人を対象に、学位をとまなわない短期から中期の複数の教育プログラムを開設しております。さまざまな業界のニーズに合わせた内容を準備し、豊富な実務家等の講師陣を配し、多くの企業からの受講者を受け入れております。



講義の様子

エグゼクティブ教育プログラム

「アジアビジネス・リーダー人材育成共同研究講座」

アジア諸国の歴史、文化、ビジネス様式の理解と事業の企画・開発・推進、企業経営、社会貢献、人材育成、コミュニケーション等の能力開発を通じて、日本とアジアの経済・社会成長に資するアジア型ビジネスモデルの提案を目指すための実証研究をおこないます。

受託研究・受託研究員

本学が企業等から委託を受けて研究を行ない、その研究成果を委託者に報告する制度です。研究成果は原則として本学に帰属することとなります。受託研究員は企業等から現職の研究者や技術者を受け入れ大学院レベルの研究の機会を提供し、その能力の向上を図る制度です。

寄附講座

企業、個人、地方公共団体、財団法人などから本学に寄附をいただき、学術研究や教育の充実・発展のために活用する制度です。

寄附講座では、大学院内に講座を設置して教員を配置し、組織的な教育活動を行ないます。またその成果を大学院の授業に活用します。

寄附していただいた方の名称を付した「冠講座」とすることができます。

寄附講義

企業、個人、地方公共団体、財団法人などから本学に講義開催のための寄附をいただき、教育の充実・発展のために活用する制度です。

寄附していただいた方の名称を付した「冠講義」とすることができます。

寄附金

広く企業・個人からの寄附金を受け付けております。寄附金は、施設の充実、教育・研究関連の各種活動やイベントに活用させていただきます。

寄附者に対しては、報告や顕彰などの制度もごございます。

>> お問い合わせはこちらまで

連絡先

京都大学 経営管理大学院 企画室

〒京都市左京区吉田本町

E-mail : 040keikankikaku-pr@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp